

医学系研究に関する情報公開について

西暦 2024年 1月 30日作成

下記の研究は、福岡リハビリテーション病院の医療倫理委員会から承認され、病院長の許可を得て実施するものです。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

| | |
|------------------|---|
| 研究課題名 | 当院における高齢心不全患者の入院経過と予後 |
| 当院の研究責任者 (所属) | リハビリテーション部 池尻 道玄 |
| 研究期間 | 病院長許可日 ~ 西暦 2024年 7月 12日 |
| 調査データの該当期間 | 西暦 2020年 11月 1日 ~ 西暦 2023年 3月 31日 |
| 研究対象となる方 | 当院にて、2020年11月1日~2022年3月31日の期間中に心不全の治療及びリハビリテーションを施行した方 |
| 研究の意義と目的 | <p>心疾患は死亡原因の第2位であり、近年、社会の高齢化に伴い心不全パニックと呼ばれるほど心不全の患者が増加しています。慢性心不全患者の20から40%は1年以内に再入院する状況であり、高齢者心不全対策の確立が急務である。その流れから循環器病対策基本法が2018年に成立、2019年に施行されました。2020年には「2040年までに3年以上の健康寿命の延伸及び循環器病の年齢調整死亡率の減少」を目標に循環器病対策推進基本計画が策定された。それに基づいて各都道府県で計画を策定し、推進している段階です。</p> <p>当院は2020年4月から心大血管疾患リハビリテーション料の算定を開始し、入院では一般病棟にて地域の軽度から中等度の急性心疾患患者、高度急性期病院から退院が困難だった回復期心疾患患者に対しリハビリテーションを提供しています。また生活期の心疾患患者に対しては外来リハビリテーション、訪問リハビリテーション、デイケアにてリハビリテーションを提供し、急性期から生活期までフォローしています。</p> <p>今回は、高齢心不全患者の入院時のリハビリテーションに焦点を当て、当院での入院経過と退院1年後の状況を調査し、当院の高齢心不全患者の傾向を明らかにし、今後の高齢慢性心不全患者のリハビリテーションに活用します。</p> |
| 研究の方法 | 後方視的観察研究 |
| 研究に用いる試料・情報 | ①基本情報:年齢、性別、身体計測、介護保険認定、独居・支援。②医学的情報:診断名(重症度)、既往歴、心臓超音波検査(LVEF、LAD)、血液データ(血清 Cre、Alb、BUN、eGFR、CRP、Hb、Na、BNP)、治療方法(デバイス挿入)、治療経過(退院日、在院日数、転帰先)。③リハビリテーション評価:入院前の生活機能(厚生労働省「基本チェックリスト」)、入院中の身体 |

| | |
|-------------------|--|
| | 機能評価(Short Physical Performance Battery、握力、通常歩行速度、上腕・下腿周径)、日常生活動作(Barthel Index、Functional Independence Measure)、フレイルの有無(日本版 Cardiovascular Health Study Index)、リハビリテーションの内容(実施期間、実施単位数、リハビリテーションの内容)。④予後・退院先:転帰先、外来理学療法の有無、退院 1 年後に郵送法で得た死亡の有無と生存日数、死因、再入院・再発の有無と日時(心血管疾患及びその他の原因)、身体活動性。 |
| 外部への試料・情報の提供 | なし |
| 個人情報の取り扱い | 利用する情報は、匿名化(どのデータが誰のものかをわからなくすること)をします。個人情報を厳重に保護し、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も個人が特定されない形式で行います。 |
| 本研究の資金源 (利益相反) | 本研究に関連し開示すべき利益相反にある企業等はありません。 |
| お問い合わせ先 | 福岡リハビリテーション病院 所属 リハビリテーション部 担当者: <u>池尻 道玄</u> 電話: 092-812-1555(代表) 対応可能時間 平日 9:00~17:00 |